

株式会社九電工

★建設(総合設備)業 福岡地区 ★西鉄バス停「那の川(九電工前)」下車

◎住所:福岡市南区那の川1-23-35 ◎設立:1944(昭和19年)12月1日 ◎資本金:79億188万円 ◎正社員数:6,003名 ◎HP:<http://www.kyudenko.co.jp/>
◎TEL:092-523-0142 ◎事業所:【本社】福岡市【東京本社】東京都(池袋)【支店】九州各県県庁所在地、大阪市、沖縄県豊見城市

今年で創立71周年を迎える九電工。昭和39年の空調管設備工事への進出を皮切りに多角化を進め事業を拡大してきた。近年では、平成20年に東京本社を設置し、東京スカイツリーなど日本を代表する建物の設備工事に携わるとともに、国内建設需要の増加を踏まえ、東北支社・名古屋支社の設置、さらには、東南アジア諸国への進出を行い、地元九州に留まらず、活動のフィールドを広げている。

採用実績データ	2012	2013	2014	
過去3年新卒採用実績	275名	235名	191名	
過去3年中途採用実績	3名	6名	20名	
中途採用窓口開設中	17年	年間休日	残業時間	初任給
採用窓口開設中	130日	27.1時間(月平均)	20.3万(大卒)	平均年齢
			40.5歳	平均勤続年数
				18.8年

●●● 私たちの宣言内容 ●●●

- 3才未満の子を養育する社員が申し出た場合は、育児休業を与えます。
- 小学校4年生の始期に達するまでの子を養育する社員が申し出た場合は、勤務時間の短縮を認めます。
- 毎週水曜日の定時退社の取り組みを推進します。
- 計画年休の取得を推進します。



男性社員
Aさん

家族を大切にしている制度が多数あり、妻や子供もすごく喜んでます

当社では、子育て支援の一環として、扶養する子供の人数に応じた「養育手当」が毎月支給されます。また、配偶者の出産後1ヶ月間、子育て支援としての休暇を取得できるほか、子供の学校行事参加の際にも休暇を取得できる制度などがあり、妻や子供にも喜ばれ、非常に助かっています。

九電工からのメッセージ

当社では、平成20年に労使による協議機関として「ワーク・ライフ・バランス推進委員会」を設置し、「毎週水曜日の定時退社の徹底」と「忙しい時期でも月1回の土日連休確保」を目標に取組んできました。育児への支援については、扶養する子供の人数に応じて「養育手当」を支給。また、社内のイントラネットに子育て支援制度を分かりやすく解説した体系図を掲載することで、制度の周知と利用の促進を図っています。このような取組を通して、子育て参加に関する社員の意識改革を行ったことで、制度導入時よりも多くの社員が子育て支援制度を利用するようになり、平成24、25、26年の3年間で育児休業取得者が30名、短時間勤務制度の利用者が28名となり、着実に子育て支援に対する意識が浸透していることを実感しています。

ロケット石鹸株式会社

★製造業 筑豊地区 ★JR飯塚駅より、自転車で20分、車で10分(自家用車通勤多数)

◎住所:飯塚市菟田東1-7-56 ◎設立:1949年(昭和24年)1月4日 ◎資本金:1,100万円 ◎正社員数:80名
◎TEL:0948-43-0756 ◎事業所:【本社】飯塚、嘉麻 ◎HP:<http://rocketsoap.co.jp/>

石鹸・洗浄剤・漂白剤・化粧品・マウスウォッシュの開発、製造と販売、各容器の製造、自社製品に加えOEM(納入先ブランド製造)も請け負っている。生活の必需品である製品を通じて、清潔な暮らしを提供し、新製品の開発や品質向上により、消費者のニーズに確実に応えるため努力している。

採用実績データ	2013	2014	2015	
過去3年新卒採用実績	1名	1名	3名	
過去3年中途採用実績	5名	3名	2名	
中途採用窓口開設中	17年	年間休日	残業時間	初任給
採用窓口開設中	114日	10時間(月平均)	—	平均年齢
				40.0歳
				平均勤続年数
				15.0年

●●● 私たちの宣言内容 ●●●

- 育児休業中の代替要員を確保します。
- 学校行事に参加する為の休暇を奨励します。
- 毎日水曜日の「ノー残業デー」を導入します。



女性スタッフ
Aさん

子供との時間が取りやすいです

「ノー残業デー」が徹底されていたり、子供のための休暇が取りやすい雰囲気が職場にあるため、仕事だけでなく家族との時間も充実しています。より一層、子供のためにも頑張ろうという気持ちで働くことができています。

ロケット石鹸からのメッセージ

社会への貢献に加えて、社員の生活向上を図ることも企業理念の一つにしていることから、社員のワーク・ライフ・バランスの実現のため、職場環境の改善に取り組んでいます。特に、子育ての時間を十分に持てるような仕組みづくりに力を入れており、日常的に早く帰る意識付けをするために、まずは毎週水曜日に17時終業の「ノー残業デー」を導入しています。子供と地域のクラブ活動を楽しんだり、夕飯を一緒に作ったりする時間が取れるなど、子供との会話が増え、新製品へのヒントにつながることもあったようです。これからも、会社の願いである「安心と健康」を社会に提供できるよう社員の心の健康に向き合っていきたいと思えます。